

実機
レビュー

“リューター” といえはここ!

質実剛健なデザインが、まさにプロユースといった印象のリューターゴールドIIは、日本精密機械工作株式会社という主に工業用、業務用の電動工具を製造販売する老舗メーカーのもの。趣味の模型に使うものとしてはハイスペックな超ハイエンド機という印象ですが、メーカーのラインナップの位置付けとしては小型機の中堅どころとのこと。今回実機をお借りすることが出来たので、実際に使用してみました。おいそれと買える価格ではないですが、模型製作にのめり込み、趣味として極めたいという方、製作代行や原型師などプロを目指す方にも是非オススメしたいです。一生モノの相棒になるはずです。



※先端工具は別売

リューターゴールドII L GII-22

価格：86,680円(税込) 高トルク3.3N・cm 対応軸径 3mm/2.34mm



POINT
低速から高速まで
抜群の安定感

▲最高38,000回転とかなりの高回転まで使用できるが、プラパーツを加工するには、ややオーバースペックの感がある。しかし、低速域での安定感は感動もの。1.凸モールドのファスナーを彫り直すために、セラミックゴムの砥石で削り落とす。高精度で安定感があるため、胴体までうっかり削りすぎてしまうということがなく、ピンポイントの切削、磨き作業を行える。2.戦車のフェンダーの薄加工を行ってみた。手先の微妙な強弱で削り具合を調整でき、ぶち抜いてしまうのでは?という不安感はない。3.高回転での性能をチェック。カッターでレジブロックを削る。面白いほどサクサクとレジが削れていく。レジキットやフルスクラッチにはバッチリなパワー。付属のスリーブコロレットを装着して2.34mm径の先端工具も使用可能だ。

● IMPRESSION

少しズシッと来るモーターユニットはそれでいて不快な重さではなく、抜群の安定感をもたらしてくれる。また、特筆すべきはその静寂性。ハイパワーなものは音も大きいと想像しがちだが、こちらは全くそんなことはなく、静かで鋭いモーター音が楽しめる。夜のコソコソ作業にもピッタリ。

あると便利! フットスイッチ(別売)

こちらはゴールドIIに対応したフットスイッチ。足元でオン/オフを切り替えられる。専門メーカーだからこそこういった周辺機器もしっかり揃っている。



Column




「リューター」の語源は人名なのです!

創業
86年!

日本精密機械工作 株式会社のコト

モデラーの皆様も、小型電動工具のことを何気なく「リューター」と呼んでいるのではないのでしょうか。その語源は「日本精密機械工作株式会社」の創業者、伊藤龍太郎氏の名前「龍太郎」にちなんで付けられたもの。人名であり、日本の企業のものというのは驚きです。現在も「リューター」とLから始まる「Leutor」は同社のブランド名として商標登録されていて、商品はもちろんカタログやその社名板にも「Leutor」のロゴがあしらわれています。同社の歴史は古く、1938年に設立され、当初は時計などの機械部品を製造していたのですが、1954年にハンドグラインダー「リューター2型」を開発。現在も「リューター」ブランドで工作機械などの設計、製造、販売を行っています。

ホビー向けのエントリーグレードも

リューターミニライトML-51



▲トルク(最大トルク2N・cm)と安定感是十分。アルミ筐体の適度な重さが手に馴染みやすく、精度が求められる細部の研磨や加工も安心してこなせる。最初から主に研磨に特化した5種類の先端工具が付属しており、すぐに作業に取り掛かれる。価格33,550円(税込)。